

# 広報 なんぼろ

2022

11

開拓 130 年  
記念特集号

## 今までの南幌町と これからの南幌町

### -Contents-

- 2 P ……挨拶 (町長・議長)
- 3 P ……町の概要
- 4～5 P ……南幌町 10 年の歴史
- 6～9 P ……未来の南幌町
- 10～15 P ……南幌町で活躍する人たち
- 16～17 P ……南幌の四季

## 開拓 130 年を迎えて

南幌町長 大崎 貞二



本町の歴史は、開拓以来度重なる水害との闘いでしたが、南幌町更生の恩人である保原元二氏をはじめとする先人の献身的な治水対策により、農業を基幹産業として発展を続け、明治 26 年の開拓から 130 年、昭和 37 年の町制施行から 60 周年を迎えました。

少子高齢化の中、本町では札幌圏への良好なアクセス、緑豊かな居住環境と子育て世代を中心とした移住施策により、平成 10 年以来 24 年ぶりに人口が増加しております。

また、道央圏連絡道路中樹林道路の開通、北海道ポールパークFビレッジの開業など、本町を取り巻く環境の変化による新たな人の流れを本町へ呼び込むため、「子ども室内遊戯施設」の開設を来年 5 月に控えるなど、本町が大きな転換期に直面していることを強く感じております。

長引くコロナ禍、さらにはロシアのウクライナ侵攻の影響による物価高騰など、町民皆様には、不安の絶えない状況と存じますが、町政を預かる者の責務として、先人たちの不撓不屈の精神と努力を引き継ぎ「緑豊かな田園文化のまちづくり」を進めてまいります。

町民皆様のこれまでのご尽力に感謝するとともに、この記念すべき年を機に本町の更なる発展に向けて、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 開拓 130 年を迎えて

南幌町議会議長 側瀬 敏彦

本町は、明治 26 年に開拓の鋤が入ってから開拓 130 年、昭和 37 年 5 月 1 日に幌向村から南幌町として新発足し、60 周年を迎えました。ここに町議会を代表してご挨拶申し上げます。

我が町は先人の努力により幾多の風水害を乗り越え、緑豊かな田園文化都市へと変革し、更に躍進が期待される町になりました。新型コロナウイルスの感染と世界的な世情の悪化により、世界経済は先行き不透明な状況が続いています。

また、政治の混迷から来る経済不況等、本町においては、財政の健全化など厳しい試練に直面しています。

町議会として、過去と未来をつなぐ、大きな使命を担っていることから、町民の皆様の声を大切に、連携を一層密にして、町政の発展のため、更なる努力をしております。

今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、「安全・安心」を基軸とした本町の発展を祈念申し、ご挨拶いたします。



平成 22 年 2 月 2 日に姉妹町締結した熊本県多良木町の町章。この町章は「夕」の字を凶案化したもので、町民の融和と団結を表し限りない躍進をする、さわやかな多良木町を象徴するものです。



## 多良木町章



南幌町はキャベツの産地指定を受けており、それに伴いキャベツをモチーフに、「野菜と太陽と元気な子」をイメージして平成 9 年に観光協会マスコットキャラクターとして誕生しました。

## キャベッチくん

昭和 39 年 6 月 10 日、町章が制定されました。「みなみほろ」の 5 文字をカタカナで円を形取り、町の安定と町民の融和を表し、さらに、夕張川、千歳川、石狩川の 3 川に囲まれた地形を象徴するものです。



## 南幌町章



緑豊かな田園文化のまちをモチーフに作成されています。夕張川と北海道のポプラ並木、基幹産業の米作をイメージしたデザインとなっています。

## カントリーサイン

### 130 年記念特集号

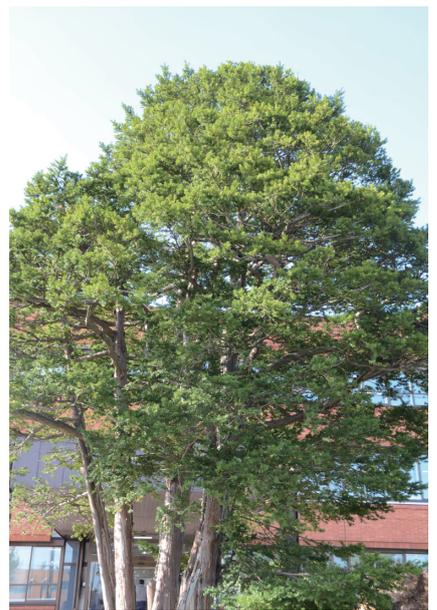
## 「町の概要」

南幌町にはまちのマークや花、木など、象徴になるものがあります。その由来等をご紹介します。



## 町花 つつじ

町民憲章の小項目に「木や花を育て、くらしにうるおいをもちましよう」と定めており、町民憲章推進の一環として町花、町木を定め、美しいまちづくりを推進することを目的として制定されました。制定の経緯は、町花、町木の選定委員会を設け、検討し、アンケート調査を実施した結果、町花は「つつじ」、町木は「おんこ」という意見が多かったことから、昭和 53 年 9 月に決定しました。そのころに、町花、町木の苗木を無償で全戸配布しました。



## 町木 おんこ

# 130年記念特集号

## 「10年の歴史」 (平成25年～令和4年)

このページでは10年前、町政施行50周年記念特集号の際に、「南幌町50年の歴史」を紹介しましたので、今回の特集号では、ここ10年のまちの出来事を振り返ります。

平成25年



### ① 南幌町スポーツ少年団が創立30周年を迎える①

記念式典後には、北海道日本ハムファイターズ「ファイターズガール」と一緒にダンス教室やゲーム大会など行いました。

### ② ディスコ night in なんぼろ初開催

農村環境改善センターで昭和50年代のディスコブームを経験した有志によるディスコナイトが初めて開催されました。近年はコロナ禍で開催を控えています。近年はコロナ禍で開催を控えています。近年はコロナ禍で開催を控えています。近年はコロナ禍で開催を控えています。



平成26年

### ③ 中学生国際留学プログラム事業がスタート②

子どもたちに国際感覚を身に付けてもらうことを目的にスタートした事業。カナダのバンクーバーを当時の中学生4名が短期留学しました。

### ④ 南幌町防災フェスタ初開催

防災に関する知識、技術の向上、関係機関との訓練による連携強化を図りながら、「見て」「参加して」「体験して」をテーマに防災資機材の展示・体験、防災備蓄品の啓発、非常食の試食体験などが行われました。



### ⑤ 生涯学習センター「ぼろろ」オープン③

当時の南幌小学校の校舎を大規模改修し、4月に生涯学習センターとして開設しました。

平成27年



### ⑥ 「町民プール」オープン④

健康に優しく、温もりを感じる木造の町民プールがオープンしました。オープニング記念事業で水泳シドニーオリンピック銅メダリスト「田中雅美」さんを迎えました。

平成28年

### ⑦ 野祭～YASAI～初開催⑤

町内の若手農業者を中心に構成する「農猿」のイベント「野祭～YASAI～」が、この年初めて開催されました。当日は、今も続く野菜の還元販売やトラクター綱引きのほか、米1俵があたる大抽選会などが行われました。



平成29年

### ⑧ 防災行政無線を更新⑥

災害時の緊急放送や平常時の行政情報など、戸別受信機による防災行政無線の運用をスタートしました。導入当初は約7割の世帯の設置でしたが、現在では、約9割の世帯に設置されています。





⑫

・子ども室内遊戯施設「はれっぱ」の建設工事開始⑫

令和4年5月に起工式が行われ、建設工事が開始しました。子ども室内遊戯施設は令和5年5月にオープン予定です。



⑬

・本町初のプロゴルファー誕生⑪

南幌町出身の内田ことこさん。6月の日本女子プロゴルフ協会プロテストに合格し、南幌町初のプロゴルファーが誕生しました。



⑪



⑩

・オンデマンド交通「あいるーと」の運行開始⑩

町内を運行していた巡回バスを廃止し、新たに、バスとタクシーの要素を兼ね備えた公共交通ができました。

・世界規模で新型コロナウイルスが大流行

令和4年現在も私たちの生活に影響を与えている、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めた年となりました。

・大崎新町長初登庁

三好前町長の辞職に伴い、町長選挙が10月4日に行われ、大崎貞二氏が初当選しました。

・村田諒太選手講演会を開催⑨

2012年ロンドン五輪金メダリスト、WBAミドル級王者の村田諒太選手が来町し、約900人の参加者に講演しました。

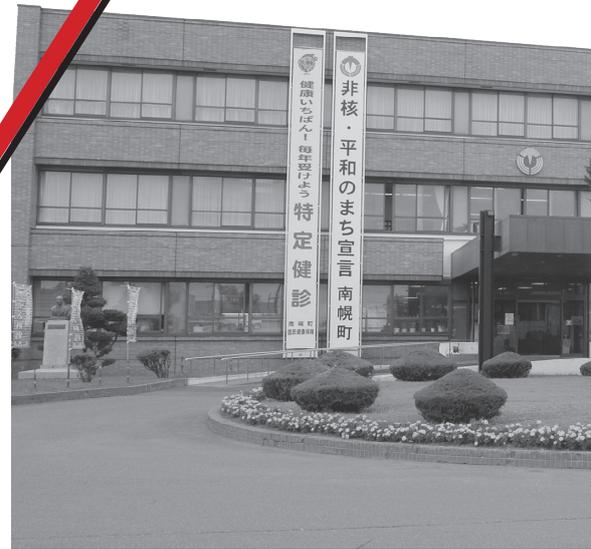


⑨

令和2年

令和3年

令和4年



平成31年（令和元年）

平成30年

・平成から令和へ  
時代は移り変わり、平成から令和へととなりました。

・台風21号、胆振東部地震が発生⑦

北海道を立て続けに襲った2つの災害。人的被害はなかったが、道路や農作物に被害があり、道全域で停電などが発生し、改めて自然災害の恐ろしさを感じさせられました。

・南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジがオープン⑧

道内の住宅事業者「きた住まいるメンバー」である建築家と地域工務店がコラボレーションして、南幌らしい緑豊かな暮らしを提案する住宅展示場「南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジ」がオープン。みどり野団地販売の起爆剤となりました。



⑧

⑦





## 130年記念特集号

# これからの南幌町

今の子ども達の目に映る南幌町はどのように見えているのでしょうか。10年後、20歳になる南幌小学校4年生41名の皆さんに聞きました。

## 今、南幌町にあったらいいなと思うものはありますか？



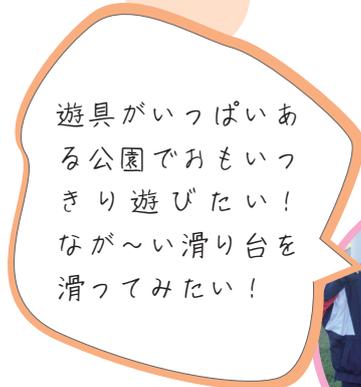
大型ショッピングモールがあつたら近くで買い物が出来るのでとてもうれしい！



南幌に道の駅があつて、その中にスイーツの食べられるお店や本が売っている文房具屋さんがあつたらいいな～！



家族で楽しめるホテルがあつたら観光客も増える！おまけでプールがついていれば最高！



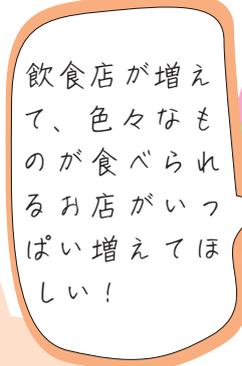
遊具がいっぱいある公園でおもちゃ遊びたい！なが～い滑り台を滑ってみたい！



アスレチックが体験できる施設で遊びたい！



水族館や動物園など生き物に触れられる場所があつたら行きたい！



飲食店が増えて、色々なものが食べられるお店がいっぱい増えてほしい！



## 将来の夢はありますか？



農家になって色々な人に美味しい野菜をいっぱい届けたい！



映画監督になりたい！



料理を作ることに携わる仕事がしたい！

幼稚園の先生になって子ども達をいっぱい世話したい！



Youtuberになりたい！  
いろんな人に自分の動画を見てほしい！

動物園の飼育員！



服のデザイナーさん！



今よりもっとにぎやかなまちになってほしい！

お祭りがたくさんあるまちだったら嬉しい！

笑顔あふれる南幌町！

にぎやかで楽しい、まち！

このまま変わらずにいてほしい！

人口が増えてほしい！

いじめやトラブルのないまち！

みんな仲良く暮らせる町になってほしい！

南幌町じゃなく南幌市！

札幌市のような大都会になってほしい！

子ども、大人がいっぱいて豊かなまち！

## 10年後、どんなまちになっていてほしいですか？

喜びいっぱいな南幌町！

商店街が栄えて、安全で平和な南幌町

事故がなく安全で、みんなが健康な町！

楽しいイベントがたくさんあるまち！

テレビにいっぱい映る南幌町！

ゲームがいっぱいできるまち！

明るく楽しい南幌町！

みんな元気で幸せなまち！

子どもがたくさん外で遊んでいる！

みんなが長く生きられるまち！

駅ができて便利なまち！

今と変わらず自然いっぱいな南幌町！

色々な想いをもち、日々成長していく子どもたち。  
どんな道に進み、どんな事に興味を持つのか、我々は子ども  
たちが健やかに大きく成長できる環境をより一層作り上げて  
いくことが必要だと感じました。



今回は、「子ども達から率直  
な意見や感想」を聞くことを  
目的とし、あえてアンケート  
用紙には名前の記入をお願い  
しませんでした。  
ページ内では紹介できない  
くらいのたくさんの意見を  
小学4年生の皆さんからい  
ただきました。



これからを担う  
子どもたち。





130年特集号

# 南幌町で活躍する 10年の人たち

今から10年前、南幌町に関わり、色々な場所で活躍する人たちにお話を聞きました。





# 介護福祉士

南幌みどり苑

佐々木 瑞希さん (左)  
原 由美子さん (右)

## Q 1年目を振り返って

(原) 元々、南幌町で生まれ育っているのでも「10年」と言われてもあまりピンときませんが、この職場での10年を振り返ると、未知の世界で戸惑うことばかりでした。様々な方の協力、手助けがあつて乗り越えられたのかなと思います。

(佐々木) 就職するということが初めての事で、先輩方にたくさんのお話を教えていただきながら毎日必死に覚えた日々を思い出します。一般教養も身につけてなかった私を指導してくれた先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。

## Q 今の南幌町は？

(原) 他市町村から南幌町に新居をかまえる方が増えてきたという印象があります。逆に転出する方も増えているのかなと…。でも、私の実家周りの景色は10年前と変わらず、見るたびにホッとします。

(佐々木) 最近、区画整備だけされていた土地に新築物件が増えてきていると思います。私自身も南幌町出身で、子どもの頃に遊んでいた公園の遊具が、老朽化が原因なのででしょうか？撤去されているのを見ると少し寂しい気持ちになります。

## Q 介護の職を選んだ

きっかけは？

(原) 祖母が、施設の利用者で面会に訪れた時にとっても良い施設という印象を受けました。その時から、仕事をしたいという施設で働きたいと思ったのがきっかけです。大変なこともありますが、やりがいも感じています。

(佐々木) なにか手に職をつけたいと考えたときに選んだのが介護という職でした。自分の子どもが小さい時に資格取得のため、勉学に励んでいたのでも、家族の支えなしでは、介護の仕事に就けなかったと思います。

## Q これからの南幌町が どのようなまちに？

(原) 今まで通り畑作や稲作などの農業が盛んなまちでいてほしいです。今、転出して町外にいる人たちが南幌町に帰ってきた時、ホッとできるような田舎ならではの風景があるまちであつたら良いなと思います。

(佐々木) 私が子どもの頃は、100人以上同級生がいました。今は1学年とまではいなくても、子どもがたくさんいて、地域で子ども達を支えている。そんなまちになっていったら嬉しいです。

## Q 最後に1言！

(原) (佐々木) まさか自分たちが大人になって取材されるなんて思っていなかったです(笑)。改めて開拓130年という年に南幌町に関わることで嬉しくて嬉しくて！  
これからまた頑張ります！

# 保育士

南幌いちい保育園  
南 紗紋 さん



Q 1年目を振り返って

1年目は分からないことも多く、日々を過ごすのに、精一杯でした。子どもたちと過ごすうちにたくさんのことを経験し、自分自身も子どもと一緒に成長した1年目だったと思います。

未熟な私に、優しく接してくれた保護者の方々にも感謝しています。

Q 今の南幌町は？

新しい施設も増え、住宅街も賑やかになったと感じています。転居での途中入園の子どもたちが来たり、保育園がさらに賑やかになったことも、とても嬉しいです！

子ども達も増えて、より一層楽しい職場になってきているので、保育士資格を持つている方がいたら是非、一緒に仕事がしたいです！

南幌町はいつも変わらず、おだやかな町でも好きです。園児とお散歩に行っても、温かく挨拶してくれるまちの方達がいて、いつも優しさを感じています。

Q 保育の職を選んだきっかけは？

私は4兄妹の長女で、小学校の頃からよく、下の子の保育園のお迎えなど行っていました。その時から、園の先生などが優しく、私も保育士に憧れをもったのがきっかけです。

Q 大変なことは？

喜びを感じる時は？

子どもの年齢によって大変なことは変わりますが、小さい子は体がまだ成長段階にあり、転倒してしまうことなどが多々あります。大きな怪我に繋がらないよう、事前に確認することなど、目を配ることが多いです。

また、日々過ごしていく中で、先日できなかったことが、できるようになったりする姿を見ることが、この仕事をやってる上で、嬉しさを感じます。

大変なこともたくさんありますが、その分嬉しさや、やりがいをとて感じる仕事でもあります。

Q これからの南幌町がどのようなまちに？

これから新しい遊戯施設が建築されると聞いています。子どもから大人まで町民のみなさんが楽しめるまちになってほしいです。

美味しいものがテイクアウトできるところが増えてくれたらいいなと思います。

Q どんな保育士に？

保育は、体力仕事な場面も多く、これから、歳をとるにつれて、段々体力がなくなっていくと思いますが、子どもたちの元気をパワーに、私も負けないぐらいに頑張りたいと思います。また、小さい子だと言葉がうまく発せない子どもも少なくありません。そんな子どもたちが何を伝えたいのか、しっかりと理解してあげられる、保育士になりたいです。



# 移住された方

美園地区  
辻松淳二さんご家族

Q 1年目を振り返って

転入してきた当初は周りにも家が全然建っていないかった風景を思い出します。

Q 今の南幌町は？

我が家の周辺では、ここ数年の新築家屋数の増加が、一番の変化です。とにかく凄まじい勢いで、家が建っていききました。転入してきた当初は、夜空がとても綺麗で、空一面に光る星を見るのがとても好きでした。私の住宅周辺も、新築が建ち、夜も明るくなって星があまり見られなくなつたのが、少し寂しい気もします。しかし、新築が増えても、我が家周辺の除雪は、相変わらず迅速で丁寧。とても嬉しいです！



Q 南幌町への転入を決めたきっかけは？

九州で仕事をしていましたが、子どもが生まれたのをきっかけに、北海道に帰ることにしました。住宅展示場で、今の家をとて気に入り、めたぎっかけです。

Q 南幌町での子育ては？

子どもの事を考えると、南幌町で良かったと思う場面は多々あります。今は、コロナ禍であまり出来ていませんが、教育委員会が主催している子ども向けスポーツ教室や体験イベントなどは参加しやすく、使いやすいです。毎年、中学生以下の子どもがいる世帯に「子育て支援米」が配布されるのも、南幌町ならではのとても良い支援だと感じます。



Q これからの南幌町がどのようなまちに？

現在、3人の子育て中です。子どもたちが将来、どこにいても南幌に帰ってくればいつでも、ホッと、寛ぎ、元気になる。彼らにとって故郷となるような町でいてほしいです。



# 役場

10年目同期の皆さん

- 古谷 圭さん (①)
- 辻脇 まどかさん (②)
- 川崎 瑞望さん (③)
- 金井 俊幸さん (④)



Q 1年目を振り返って

Q 今の南幌町は？

個人的には、なるべく南幌産の野菜を買うようにしていますが、年々おいしくなっていると思います！

Q これからの南幌町が

どのようなまちに？

(金井) 1年目に配属された産業振興課商工観光グループは、観光協会事務局として町内・町外イベントに出店を中心に、観光に関する様々な活動を行っているグループでした。先輩方に助けてもらいながら、与えられた仕事をなんとかこなすのに一杯でした。徐々に慣れてきて町民の方々とお話できるようになり、仕事が楽しくなってきたことを思い出します。また、10年経つとたくさんの町民と交流することができ、名前や顔を覚えてもらえるようになり南幌町民になれたと感します。

(古谷) 都会の近間のちよつとした田舎感がふつと湧き出てきたと思います。以前と変わらず、落ち着いた雰囲気の中に、移住されてくる方が増え、賑わいを感じることも多くなつたと思います。

(川崎) 何かあれば地域で助け合えるまちになっていたら嬉しいです。

(川崎) ツルハドラッグができたのがとても大きいです。後は、美園地区が発展したことが一番変わったこととです。10年前は本当に家が少なかったのです。ただ、田園風景や町民の方の温かさなどは、本当に変わらな

い所だと思っています。

(古谷) 町民の皆さんが、笑顔で穏やかに暮らせるまちでたいです。この先も歴史が脈々と続くまちでありたいです。

(辻脇) 当時は住民課の窓口で勤務していましたが、右も左もわからず住民の皆様や上司にたくさん迷惑をかけていたと思いますが、優しい方が多いなというも思っていました。南幌に住むのも初めてだったので、街並みが碁盤の目状になっているにもかかわらずしよっちゅう迷子になっていました。

(辻脇) 10年前は8,000人以上いた人口が徐々に減っていき不安に思っていました。ここ数年で子育て世代の移住者が増え、仕事帰りにエコープなどに行くと、若い家族が何組もいたりして、まちに賑わいが戻ってきているようで嬉しいです！また、今思うとこの10年でツルハやセコマ、ラーメン屋さんなどいろいろなお店が増えて生活に潤いが増しました。

(辻脇) 豊かな自然やおいしい食べ物など素敵なところがたくさんあるまちです。来年、子ども室内遊戯施設「はれつば」がオープンするので、多くの方に南幌を知っていただき、魅力が伝わることを願っています。いつか人口が1万人を超える日が来ると嬉しいです！

(金井) 私自身子育てをしていて子どもたちはたくさん自然を感じることもできる環境です。また、来年5月に子ども室内遊戯施設が完成することのでたくさんの子どもが訪れると思いますので、笑顔あふれる南幌町になってくれたら嬉しいです。

(金井) 私自身子育てをしていて子どもたちはたくさん自然を感じることもできる環境です。また、来年5月に子ども室内遊戯施設が完成することのでたくさんの子どもが訪れると思いますので、笑顔あふれる南幌町になってくれたら嬉しいです。



# 消防士

南空知消防組合南幌支署  
山口 周さん

Q 1年目を振り返って

とにかく、毎日仕事を覚えるのに必死でした。今でも覚える仕事は沢山ありますが、あの頃と今を比べると、自分の気持ちにゆとりをもって仕事に取り組むことが出来ています。

Q 今の南幌町は？

街並みは住宅が増えたり新しいお店ができてたりと随分と変わったなと感じます。近年では、胆振東部地震や、新型コロナウイルス蔓延など、世界規模で変動している世の中ですが、町民の方々の、繋がりが温かさは、10年経った今でも、変わらない南幌町の魅力だと思います。

Q どんな消防士に？

町民の方々が火事などに遭わないように予防運動をしっかりと行い、万が一なにかあったときには、利用された方に「ありがとう」と言ってもらえるような消防士になります！

Q これからの南幌町がどのようなまちに？

少子高齢化が進む中でも、地域医療の確保や、教育環境の充実など、誰もが安全で安心に暮らせるまちにしたいです。

Q 今回取材を受けて

Q 消防士を選んだ  
きっかけは？

消防という仕事に憧れたのは小学校の頃です。祖父が自宅で倒れてしまった時に救急を呼んで来てくれた消防士の方々をみて、自分も消防士になりたいと思うようになりました。

町開拓130年という節目の特集号に消防士という仕事や、私自身が抱いている気持ちなどを取材いただけただけのこと大変嬉しく思います。消防という仕事は、大変なことたくさんありますが、それ以上に、やりがいを感じる仕事でもあります。この特集号をきっかけに消防という仕事に関

Q 最後に1言！

町民の皆さんが、快適に暮らせるまちを作るためにも、これからまた、より一層頑張ります！



心を持っていただき、将来、消防士を目指している子どもたちに背中を押してあげられることが出来たら、とても嬉しいです。



# 春



海にも山にも面していないまちだからこそ見られる景色があります。  
昔から変わらない景色、時代とともに変化する景色。  
四季折々に見せる本町の姿をご覧ください。



# 夏





秋



# 南幌の四季



冬



# 南幌町歌

作詞 大西良子

補作 田川 昭

小鳥が歌う 青空が  
ふれあう心 なごやかに  
ふれあう心 なごやかに  
みんなと逢えた よろこびに  
未来に翔く この街は  
未来に翔く なんぼろ町

はるか見渡す みどり野が  
息吹を燃やす たからかに  
息吹を燃やす たからかに  
みんなと住んでる よろこびに  
未来に翔く この街は  
未来に翔く なんぼろ町

稔りよろこび そよかぜが  
稲穂を渡る さわやかに  
稲穂を渡る さわやかに  
みんなと歩く よろこびに  
未来に翔く この街は  
未来に翔く なんぼろ町

広報なんぼろ

開拓 130 年特集号

〒069-0292 空知郡南幌町栄町3丁目2番1号 ☎011-378-2121

発行 南幌町 / 編集 まちづくり課企画情報G / 印刷 (株) 総北海

南幌町ホームページ <https://www.town.nanporo.hokkaido.jp>

南幌町 Facebook ページ <https://www.facebook.com/nanporotown>

南幌町Eメールアドレス [nanporo@town.nanporo.hokkaido.jp](mailto:nanporo@town.nanporo.hokkaido.jp)

育てる喜び、育む幸せ。

南幌町

TOWN NANPORO